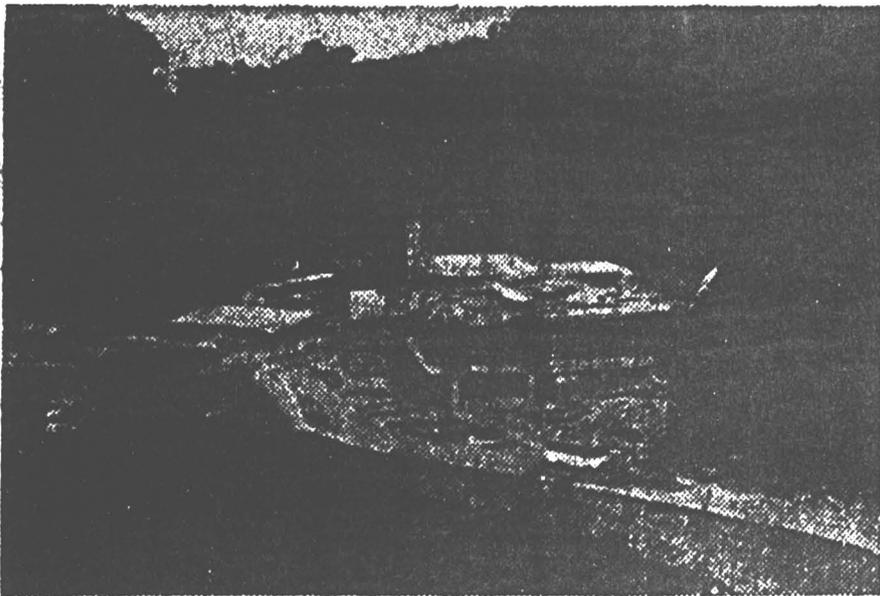


建設急ぐ温泉病院

湯之児分院 完成待つ水俣病患者

水俣市西湯之児に建設中のリハビリテーションセンター「市立病

院湯之児分院」は、すでに七分ど



七分どおり完成した湯之児リハビリテーションセンター

おりでき上がり、急ピッチで完成を急いでいる。同センターは水俣病患者を更正し、社会に復帰させるための治療と訓練が目的、同病患者にとって是最良のプレゼント。鉄筋コンクリート三階建て、延べ三千四百平方。本館は治療室、レントゲン室、手術室、八十四ベッドの病室。理療棟は平屋建て、各種機能障害にたいする回復訓練装置、温浴装置などが完備されるほか、九州で初めての機能訓練用の塩水プールもできる。総工費は六千五百万円。

すでに第一泉源は掘削を終わり、一時間二十四リットル、五十二度のゆわ湯がある泉源を確保しており、近くに着工予定の国民体育や保養所などの需要に備えるため、十三日に第二泉源のボーリングに着手した。

本館、理療棟のコンクリート架立ちはほぼ完成しており、九月末には着工の手定。ひきつづき第二期工事に着手、本館を四階建て、理療棟を二階建てとして、ベッド数も三百床にふやす計画。水俣病患

者に三十ベッドを確保したあとは小児マヒ、中風などの神経症状で手足の不自由なものを入院させることになってる。